

お茶とお香の 小さな道具の世界

2022年3月8日(火)～6月12日(日)

月曜休館(祝日の場合は翌平日休館)



Small Tools in Tea ceremony and Incense-smelling ceremony

開館時間/9時30分～17時(受付は16時30分まで)

観覧料金/一般310円、団体(20名以上)260円、65歳以上210円、高校生以下無料

主催/金沢市立中村記念美術館 後援/北國新聞社、テレビ金沢、MRO北陸放送

左上から順に、八田円齋《色絵一人蓋置》大正・昭和20世紀、《薩摩色絵虫籠形香炉》、《交趾菊蟹香合》明17世紀、伝五十嵐道甫《松喰鶴時絵沈箱》江戸17世紀、西坂方南《色絵起上り香合》昭和20世紀、吉田屋薫《色絵三葉形蓋置》明治19世紀、《青貝十角香炉》19世紀、西坂方南《大樋打出小箱にねずみ香合》昭和20世紀、蓮田修吾郎《三人形蓋置》昭和・平成20世紀、真葛長造《乙御前香合》江戸19世紀、二代真清水藏六《青磁千鳥写香炉》明治・昭和19-20世紀、《唐物肩衝茶入 利休小肩衝》南宋・明13-15世紀、野口重春《白竹三日月香合》昭和・平成20世紀、野々村仁清《色絵菊桐文茶器》江戸17世紀、首丸耕堂《堆漆瑞鳥茶器》平成4年、初代西村松逸《松蔭繪裏》昭和52年



《草花蒔絵香筆筒》



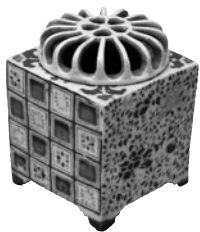
《七宝瑞果文壺形香炉》



《青磁算木文香炉》16-17世紀



《草花蒔絵菱形重香合》



《古清水牡丹唐草文香炉》
江戸17-18世紀



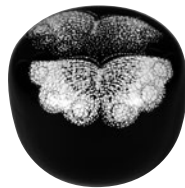
野口重春《白竹張内潤雪吹》
昭和-平成 20世紀

茶道や香道で手に取る道具といえば、茶碗や香炉ではないでしょうか。お茶を飲む、また、香を聞くのに欠かせないこの二つの道具は、直に触れて鑑賞することができるので、掌で楽しむ道具と言い換えることができるかもしれません。ほかにも、茶道具と香道具には、手に取って用いる小振りの道具がたくさんあります。

このたびの企画展では、茶入、棗、蓋置、香合などの手のひらに乗るサイズの茶道具と、香筆筒や香包など小さいながらも華やかな装飾をほどこされた香道具を特集します。小さくて可愛い道具の数々をお楽しみください。



十一代 中川浄益《南鏡一葉蓋置》
昭和 20世紀



寺井直次《胡蝶文合子》
昭和43年



《杏葉文蒔絵十種香箱》



開館時間：9時30分～17時（受付は16時30分まで）
観覧料金：一般310円／団体（20名以上）260円／65歳以上210円／高校生以下無料

【交通】（駐車場20台有り）
・金沢駅兼六園口（東口）バス乗場から18系統「東部車庫行」「金沢学院大学行」で「本多町」下車、徒歩3分
・金沢駅兼六園口（東口）バス乗場から城下まち金沢周遊バスで「本多町」下車、徒歩3分
・金沢ふらっとバス（菊川ルート）で「ふるさと偉人館」下車、徒歩3分

茶道具と工芸の美術館
金沢市立中村記念美術館

〒920-0964 金沢市本多町3丁目2番29号
TEL.076-221-0751 FAX.076-221-0753
<https://www.kanazawa-museum.jp/nakamura/>



【会期中のイベント】

※新型コロナウイルスの感染状況により休止する場合は、ホームページ等にて告知します。

ギャラリートーク

展示作品について学芸員が解説します。事前の申込は不要です。（館内の混雑状況によって入場を制限させていただく場合があります）

開催日：3月11日（金）・12日（土）、4月8日（金）・9日（土）、5月13日（金）・14日（土）

時間：14:00から50分ほど
参加費：観覧料金（一般310円）

「生菓子の日」のお知らせ

館内喫茶室にて季節の和菓子と抹茶のセットをお召し上がりいただけます。数量限定、無くなり次第終了します。生菓子の終了後は通常の抹茶セット（350円）をお楽しみください。

提供日：3月12日（土）・13日（日）、4月9日（土）・10日（日）、5月7日（土）・8日（日）・14日（土）・15日（日）、6月11日（土）・12日（日）

利用時間：10:00～16:30（受付は16:00まで）
料金：600円

「旧中村邸」春の一般公開

昭和3年（1928）、酒造業を生業としていた中村家の住宅として建築され、現在は金沢市指定保存建造物である旧中村邸を公開します。

期間：4月29日（金・祝）～5月8日（日）
公開時間：10:00～16:00（入場は15:30まで）
料金：無料